

資料 4

町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（忠生地区）

- 1 町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（忠生地区）
- 2 町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表

町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（忠生地区）について

本資料は、各通学区域統合検討対象校において、「児童・生徒の通学のしやすさ」の評価項目における優先順位を比較検討し、第6回審議会で審議した「ゆとりある学校施設環境の整備」及び「学校施設の老朽化の状況」の評価項目における優先順位とあわせて、学校候補地を選定するための資料です。

資料の見方は以下のとおりです。

資料の見方

①候補地の順番は、通学区域統合検討対象校ごとに「㉑建物敷地面積」の大きい順番になっています。

②各項目の見方・内容について

項目		小項目	内容
地区		① -	町田市立学校の新たな通学区域（アンケート調査案）で示した地区
通番		② -	通学区域検討対象となっている通学区域別の番号
学校名（候補地名）		③ -	学校名または学校以外の候補地名
学校候補地		④ -	評価項目「児童・生徒の通学のしやすさ」「ゆとりある学校施設環境の整備」「学校施設の老朽化の状況」を総合した望ましい学校候補地 ※⑩と⑳と㉑の評価結果を総合して評価
統合後学級数 ※新たな通学区域（アンケート調査案）変更後		⑤ 2020	2020年度に通学区域を統合した場合の児童・生徒数から算出した学級数
		⑥ 2030	2020年8月に実施した児童・生徒数推計における2030年度の通学区域統合後の推計児童・生徒数から算出した学級数
		⑦ 2040	2020年8月に実施した児童・生徒数推計における2040年度の通学区域統合後の推計児童・生徒数から算出した学級数
		⑧ 統合可能年度	小学校：推計学級数が24学級以下になる年度 中学校：推計学級数が18学級以下になる年度
		⑨ 統合可能年度児童生徒数	⑧の年度における統合後の児童・生徒数及び学級数
児童・生徒の通学のしやすさ 評価項目	優先順位	⑩ -	児童・生徒の通学のしやすさ 評価項目における学校候補地としての優先順位 ※⑩の数字の少ない順
	順位合計	⑪ -	⑫と⑬の順位の数字の合計
	順位	⑫ -	⑬の割合が小さい順
	学校候補地から直線距離で2km（徒歩で約30分）超の場所に居住する児童・生徒	⑬ -	学校候補地から直線距離で2km（徒歩で約30分）超の場所に居住する児童（生徒）の割合
	学校候補地から直線距離で2km（徒歩で約30分）超の場所に居住する児童・生徒	⑭ -	学校候補地から直線距離で2km（徒歩で約30分）超の場所に居住する児童（生徒）の人数
	2kmを超える児童への配慮	⑮ -	学校候補地から直線距離で2km超の場所に居住する児童（生徒）が、おおむね30分程度（35以内）で通学するための配慮の可否
	順位	⑯ -	⑰の割合が大きい順
	学校候補地から直線距離で1km（徒歩で約15分）以内の場所に居住する児童・生徒	⑰ -	学校候補地から直線距離で1km（徒歩で約15分）以内の場所に居住する児童（生徒）の割合
	学校候補地から直線距離で1km（徒歩で約15分）以内の場所に居住する児童・生徒	⑱ -	学校候補地から直線距離で1km（中学生は1.5km）超～2km以内の場所に居住する児童（生徒）が、おおむね30分程度（35以内）で通学するための配慮の可否
ゆとりある学校施設環境の整備 評価項目	優先順位	⑳ -	ゆとりある学校施設環境の整備 評価項目における学校候補地としての優先順位 （第6回審議会審議結果掲載）
	建物敷地面積+運動場面積	㉑ 面積（㎡）	建物敷地面積と運動場面積の合計 ※学校以外は敷地面積
	建築制限	㉒ 主たる用途地域	地域に沿った土地利用を実現するための建築物の用途・都市計画法の規定による規模等の制限の別
		㉓ 容積率	主たる用途地域による容積率
	施設の配置の工夫のしやすさ	㉔ 土地の形状	より正方形に近い敷地であれば「整形」と記載
		㉕ 土地の高低差	有…候補地内に施設配置や維持管理に支障が出やすい高低差が有る
			無…候補地内に施設配置や維持管理に支障が出やすい高低差が無い
㉖ 周囲への日影の影響		大…周囲に建物等が多い （概ね北・東・西の3方向に建物等がある） 中…周囲に建物等がある （概ね北・東・西のうち2方向に建物等がある） 小…周囲に建物等が少ない （概ね北・東・西のうち1方向にのみ建物等がある）	
㉗ 都市計画道路	敷地内における都市計画道路の整備計画予定の有無 ※「計画有」と記載されている場合…学校候補地から除外		
老朽化評価項目	2000年以降建築	㉘ -	2000年以降に新築または改築した場合には、新築または改築した年を記載
（参考）避難施設の指定	㉙ 地震		町田市地域防災計画における地震災害時の避難施設としての指定の有無
	㉚ 風水害		町田市地域防災計画における風水害時の避難施設としての指定の有無

町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（小学校：忠生地区）

地区	通番	学校名 (候補地名)	学校 候補地	統合後学級数			統合 可能 年度	統合可能 年度児童 生徒数	児童・生徒の通学のしやすさ 評価項目										ゆとりある学校施設環境の整備 評価項目							老朽化 評価 項目	(参考)		
				2020	2030	2040			優先 順位	順位 合計	通学距離・通学時間				順位	優先 順位	建物敷地面積 +運動場面積			建築制限		施設の配置の工夫の しやすさ					2000 年以降 建築	地震	風水害
				⑤	⑥	⑦					順位	学校候補地から直線 距離で2km（徒歩で 約30分）超の場所 に居住する児童	2kmを超 える児童 への配慮	順位			学校候補地から直線 距離で1km（徒 歩で約15分）以内 の場所に居住する 児童	1km～ 2kmの児 童への配 慮	面積 (㎡)	主たる 用途地域	容積率	土地 の 形状	土地 の高 低差	周囲 への 日影 の影響	都市 計画 道路				
				⑧	⑨	⑩																							
忠生	(1)	函師	○					2位	3	1位	0.0%	0人		2位	70.0%	827人	配慮可能	1位	20,542	第一種低層住居	80%	整形	無	小		2008年	○	○	
		山崎		30	24	20	2029	850 (24学級)	3位	6	3位	4.1%	48人	配慮可能	3位	53.7%	635人	配慮可能	2位	15,025	第一種中高層住居	100%	整形	無	中			○	○
		忠生							1位	3	2位	1.9%	22人	配慮可能	1位	82.4%	974人	配慮可能	2位	13,830	第二種中高層住居	200%	整形	無	中			○	○
	(2)	小山田南	○					823 (24学級)	1位	3	2位	2.4%	22人	配慮可能	1位	83.3%	763人	配慮可能	1位	17,833	第一種中高層住居	150%		無	中			○	○
		小山田		27	19	18	2022		2位	3	1位	0.0%	0人		2位	52.3%	479人	配慮可能	2位	11,799	第一種低層住居	80%		有	小			○	
	(3)	木曽境川						832 (24学級)	2位	3	1位	0.0%	0人		2位	57.2%	677人	配慮可能	1位	16,735	第一種低層住居	80%		無	大			○	
		忠生第三	○	30	22	20	2027		1位	2	1位	0.0%	0人		1位	83.7%	990人	配慮可能	1位	13,138	第一種低層住居	80%	整形	無	大			○	○

町田市立学校の新たな通学区域案における学校候補地 比較検討表（中学校：忠生地区）

地区	通番	学校名 (候補地名)	学校 候補地	統合後学級数			統合 可能 年度	統合可能 年度児童 生徒数	児童・生徒の通学のしやすさ 評価項目										ゆとりある学校施設環境の整備 評価項目							老朽化 評価 項目	(参考)		
				2020	2030	2040			優先 順位	順位 合計	通学距離・通学時間				順位	優先 順位	建物敷地面積 +運動場面積			建築制限		施設の配置の工夫の しやすさ					2000 年以降 建築	地震	風水害
				⑤	⑥	⑦					順位	学校候補地から直線 距離で2km（徒歩で 約30分）超の場所 に居住する生徒	2kmを超 える生徒 への配慮	順位			学校候補地から直線 距離で1km（徒 歩で約15分）以内 の場所に居住する 生徒	1.5km～ 2kmの生 徒への配 慮	面積 (㎡)	主たる 用途地域	容積率	土地 の 形状	土地 の高 低差	周囲 への 日影 の影響	都市 計画 道路				
				⑧	⑨	⑩																							
忠生	(4)	忠生	○					1位	3	2位	28.0%	316人	配慮可能	1位	41.9%	474人	配慮可能	1位	22,021	第二種中高層住居	200%	整形	無	小			○	○	
		小山田		29	20	16	2035	653 (18学級)	2位	3	1位	12.3%	139人	配慮可能	2位	41.0%	463人	配慮可能	2位	21,274	第一種中高層住居	150%	整形	無	中			○	○